

北郷（下）地区座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 7 月 18 日(日)19:00～21:15

○と ころ:伊知地公民館

○テ ー マ:第5次勝山市総合計画

○出 席 者:30名

◎第5次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>・観光客の入り込み数が伸びている。交流人口も増加しているが、このことについて市は将来的にどのような考え、方向性を持っているのか。</p> <p>・北郷町という地域、また各集落の機能のあり方について、小さな集落においても行政機能があるが、高齢化などでだんだん難しくなっている。どのように考えているのか。</p> <p>・自衛消防隊について、柔軟に連携していくという方向も考えてほしい。行政事務についても同様である。</p> <p>また、集落内の役割分担についても、地域の役員や各団体だけが活動していくのではなく、集落の中にもいろんな考えを持っている人がいるので、その人たちを活かしていくという考え方を進めていくことが大切だと思う。そうしないと、地域が壊れていってしまうのではないかと思う。</p>
A1	<p>・市ではふれあい人口を増やそうと進めてきた。また、スキージャンプや恐竜博物館などで観光客が増えているし、昨今では学生の合宿も増えている。今後も観光振興、ふれあい人口の増加を目指し進めていきたいし、総合計画にも位置づけていく。</p> <p>・小さい集落においては、災害時の共助や、お祭り・文化の継承ができなくなってきている。災害時の共助機能や伝統文化の継承機能をどうするかについては、いまのようなご意見をいただくなかで、総合計画にどのように位置づけていくかを考えていきたい。</p>
Q2	<p>・小学校再編と新体育館建設について、新体育館が長尾山総合公園の中ではなく、南部中学校に建てるというのは、新体育館を建てるために、中学校の再編が持ち上がったのか、それとも、小中学校再編と新体育館建設は別々のものなのか、その辺りがわからないので教えてほしい。</p>
A2	<p>・小中学校の再編と、新体育館建設を一体的に、そしてより合理的に進めたいというのが、素案の考え方である。</p> <p>以前から、今の小中学校のあり方については課題があるということで、市民を対象とする各界の代表者が委員となって、小中学校のあり方検討委員会を設置して検討を進めてきた。それと併せて、市全体の体育施設のあり方についても、体育館のあり方検討委員会で検討された。その中では、いまの体育施設が市民の需要に応じきれていないといった部分を踏まえて、新体育館建設という考え方に至った。その経緯において、長尾山総合公園内に新体育館建設という考え方もあったが、いろいろ検討する中で、既存の土地、体育関係施設等も活用しながら合理的に進めていくほうが良いという考えになった。そのような中において、小中学校の再編計画があり、学校敷地等を活用するという考えも出てきた。</p> <p>したがって、新体育館建設ありきということではない。</p>

Q3	・少子化対策に取り組んでいくことはよくわかったが、高齢化社会への対応についてどうなのか。健康な人は良いが、寝たきりの人への施策についてはどうなのか？
A3	・現在、介護計画、高齢者きらめき計画など高齢者に関する市の計画を策定して進めているが、総合計画の中にもしっかりと位置付けていきたい。
Q4	・観光について、旧木下家住宅、畑ヶ塚、岩屋観音等をどのように考えているのか。
A4	・旧木下家住宅は、6月下旬に正式に国の重要文化財に指定された。整備、活用などを検討する委員会には専門の方以外に北郷町まちづくり委員会など地元の方にも入っていただいている。今後、旧木下家住宅を核としていかにまちづくりを進めていか活用計画を立てていく。また建屋の大規模改修等も必要であり、そのような整備計画と併せた活用計画を立てていく。地元から旧木下家住宅、畑ヶ塚、岩屋観音も併せてまちづくりに活かしていきたいという声があるので、今後の整備に向けて検討していきたい。
Q5	・勝山市そのものは今後どうしていくのか聞きたい。合併するのか、単独で行くのか。
A5	<p>・市町村合併については、当時勝山市でも、大野市や上志比村との合併などについて市民のみなさんとも議論したところだが、結果として単独市を選択した。これは、決して間違っていなかったと考えている。合併を選択したところもなかなか当時の説明どおりにはいっていないようだ。結果的には全国の自治体の数は半分になった。合併特例法も今は終息し、現在は国もこれ以上の合併推進の考えはもっていない。</p> <p>今回の10年の計画は、あくまで勝山市は単独という方向で、どのようにまちづくりを活性していくかを基本に作り上げていきたいと考えている。</p> <p>また、勝山市の高齢化率は29%で、どんどん高くなってきている。これは、勝山市だけでなく、全国の地方都市が同様の傾向にある。核家族化が進む中で、在宅介護をどうしていくのかが今後の重要課題になっている。現在は総合計画と並行して、地域福祉計画の策定を進めている。地域福祉計画も来年3月策定を目指しているので、今後10年の勝山市の福祉をどうしていくか、市民のみなさんとしっかりと議論を重ね進めていきたい。</p>
Q6	・まちをきれいにすることについては、旧町と旧村部では差があり、旧村部が後回しになっている。
A6	・今回の総合計画の中にそれぞれの地区の特性を活かしたまちづくりについてどうしていくかを計画の中に落とし込んでいく必要があると考えている。
Q7	・中学校については、1本化したほうが生徒のために良いと思うが、小学校については幼稚園を含めた併設を考えたほうが良いと思う。
A7	・少子化に伴い幼稚園・保育園の入園者数は減ってきている。それぞれに機能が違い、なかなか一本化できなかった。しかし、幼保一元化の動きが出ている。ご提案の趣旨は普段からの幼稚園と小学校の交流が必要ではないかという視点からだと思うが、現在も幼稚園児と小学校児童との交流のカリキュラムを年間でかなり持っている。ご提案は今後の参考とさせていただく。
Q8	・勝山として企業誘致は難しい。今は道の整備が進んで北郷からは30分で福井へ行ける。ベッドタウンのようなものを北郷で考えられないか。

A8	<p>・中部縦貫自動車道は着々と進んでおり、永平寺大野道路は平成28年の完成を目指している。今後ベッドタウンのような計画も検討の余地はあると思っているが、まずは、伊知地、坂東島に住んでいる人が住み良いまちづくりというものを一番に考えている。雪の問題などについても、老朽化している消雪装置の改善について進めていかなければいけない。そのように、まずは、ここに住むということに主眼を置いたまちづくりを進めていきたい。</p>
Q9	<p>・小中学校の統廃合について、地域の人々の意見を聞くという話しだったが、もし、荒土、鹿谷、北郷で署名運動等をして、大多数が反対であったら統廃合は見送ってくれるのか。</p>
A9	<p>・北部中学校の生徒数は平成元年と比べると半数以下となっている。生徒が少なくなると、専門の教師がそろわないという実態がすでに出てきている。体育の時間などにグループ分けもできない。部活動の幅も減る。いろんな仲間同士で切磋琢磨して刺激しあうことができない。集団で学校生活を送るという観点から言えば、生徒数が減るということは決して好ましくないというのが一般的な見方だと思う。これに対して、検討委員会で望ましい姿についてのまとめが出た。それを踏まえたものが今回の素案である。</p> <p>市民アンケートについて、統廃合を懸念している方の反対の理由を見たときに、通学に問題があるというのが最大の理由であるので、それをクリアすることを考えたということである。仮に、今後10年、15年先と子どもの教育環境をしっかりと議論した上で、地域の人々の大多数が反対ということであれば、特に小学校については、地域に密着していることから、お話し合いをする中で、地域のみなさんの意思を最大に尊重する。地域のみなさんのいろんな案、バリエーションの案があると思うので、ご相談をしながら進めていきたい。</p>
Q10	<p>・中学校については、お金はかかるが全く新しい中学校を建てるというわけにはいかない。既存の校舎利用だと、どうしても今の中部中学校のイメージが残ってしまう。</p> <p>・統廃合については、子どもが少なくなったからとか、行政の効率だとか、教職員の経費だとかという観点からではなく、子どもの健全な発達の為にどうすればよいかという視点で考えてほしい。単に遠いならバスを出せばいいだろうとか、そういうことではないと思う。子どもたちが毎日学校に通うことで、周りの風景を見て、風を感じ、小川の流れるせせらぎを聞くといった、体で地域を感じながら育ってきた。それを消し去ってしまうような再編でいいのだろうかと思う。やむを得ず統廃合するのであれば、子どもの柔軟な発達、成長させるためにはどうすればよいかという視点に立って考えてほしい。小学校4年生までは、北郷小学校に通い、5、6年生は統合後の小学校に通うという方法もあるのではないかと考える。</p> <p>・地域コミュニティについては、集落単位が大きいところは人数もあって良いが、小さな集落は機能しなくなっている。大きい集落にしても、地区を構成する人たちの意識が融解している。壮年会、婦人会、子ども会などがだんだん機能しなくなっている。現場では深刻な問題になっている。地区の人間が自分たちでできるところはしたいが、できないところについては、行政の援助をお願いしたい。</p>

Q11	<p>・市が言っていることと、住民の統廃合に関する意識の議論の出発点がズレているように見える。市は自由な意見尊重と言っているが、これまでの地区座談会で統合に賛成か反対かという意見しか出ていない。今日やっと、伊知地の区長から幼稚園といっしょにしたらどうかという意見が出てきた。あと、小学校4年生まで分校という意見、また、荒土地区であった中学校2校にしたらどうかという意見、この3つしかない。あとは全部、市が示した素案を飲むか飲まないか2択の意見である。第3の道はないのか。</p> <p>北郷町民が素案とはちがう選択をした場合、勝山市はどうするのか。</p>
A10・11	<p>・中学校は、新しい場所で、ハードもすべて新しいということは大変良いことだが、しかし、既存の施設で整えていきたいというのがいまの考え。しかし、すべて既存ではなく、新しいものはしっかりと付加して、ソフト、ハードとも魅力あるものにしていきたい。</p> <p>また、今後の小学校のあり方について、小さい学校はそれなりに良い面があるのは事実である。しかし、児童たちが切磋琢磨し刺激しあう為には一定の児童数があるのが良いというように、一長一短ある。市としては、検討委員会の報告を踏まえて素案を作った。</p> <p>小中学校再編に関する新しいご提案もいくつかあった。北郷地区の意思がまとまったときにどうするかということは、先ほど、地元の意見を最大限に尊重して、いろいろなバリエーションがあるのではないかとということでお答えしたところ。</p> <p>そういった意味で本日はたくさんのご意見をいただき感謝している。</p>
A (全体)	<p>・小中学校の再編については、8月に各学校区で話し合いを進めていきたい。</p> <p>特に小学校再編については、基本的に地元尊重するが、いろいろなバリエーションが出てきたときには、あり方検討委員会報告の中にあるように、審議会を設けて議論する必要が出てくる場合もあり得るかと思う。今後の推移をみながら検討していく。</p> <p>地域の特性を活かしたまちづくりについては、前回の総合計画にも書き込んではあるが、具体的に乏しいということもあるので、いただいたご意見をもう少し詰めて成案にし、これは地区座談会というよりも、各区長会などを通じて意見交換をする中で、総合計画に落とし込めないか考えたい。</p>

以上